

会 議 録

1. 会議の名称 第54回熊取町原子力問題対策協議会
2. 開催日時 平成25年3月14日（木）午後2時から午後4時
3. 開催場所 役場別館3階 委員会室
4. 議題
案件1 役員選出について
案件2 京都大学原子炉実験所の現状報告について
案件3 原子燃料工業株式会社熊取事業所の現状報告について
案件4 その他
5. 公開・非公開の別 全部公開
6. 傍聴者数 0人
7. 審議等の概要
案件1 役員選出について
・事務局説明
役員の選出方法について説明を行った。
・結果
仮議長の白間副委員長より（議長一任の声に基づき）役員選出が行われた。
委員長に区長会会長の中伊佐男氏を指名し、承認された。

案件2 京都大学原子炉実験所の現状報告について
・京都大学原子炉実験所説明
現状報告について説明を行った。
・審査結果
説明内容に問題がなく、了承された。
・質疑応答
○ ライフラインの整備計画について、いつまでに完了するか、また、工事後の運転はどうかという質問に対し、原子炉施設そのものに加え電気や水関係全般の工事については来年度（平成25年度）中、煙突排気塔やスタック更新などについては12月以前に完成させたい旨、また、8月から10月の間はテンポラリーに運転を止める旨の

説明があった。

- （BNC Tに関し）治験の詳細についての質問に対し、第1相の試験については、1か月に1例ずつ、合計3から5例が一般的であること、第2相及び第3相は通常優位性の証明ができるまで行われるため詳細不明であるが、最終的に2から3年はかかる見込みである旨の説明があった。

案件4 京都大学原子炉実験所の現状報告について

- ・京都大学原子炉実験所説明

- 現状報告について説明を行った。

- ・審査結果

- 説明内容に問題がなく、了承された。

- ・質疑応答

- （熊取原子力規制事務所の定例巡視時の指摘事項に関し）、どのような対策がなされたかの質問に対し、複数回のトラブル事象についてそれぞれ原因が異なるため、幅広く調査分析を行い、3月末を目途に完了させる旨の説明があった。なお、対応内容はバルブや接続部のパッキンの交換等が主になるかとの再質問に対して、そのとおりである旨の回答があった。
- （ストレステスト評価に係る原子力安全・保安院への平成24年4月27日付報告に関し、）当該報告に対するリアクションに係る質問に対し、平成24年9月に発足した原子力規制委員会から審査開始等の連絡はないが、3月に受けた保安検査の中で確認されたという実績がある旨の説明があった。
- 原子燃料工業の操業の状況に係る質問に対し、現在のところ（過去の発注に対する）加工があり、夏ぐらいまで続く状況であり、原発の再稼働時期がポイントになる旨の説明があった。
- （熊取原子力規制事務所の定例巡視時の指摘事項に関し）、「軽微な指摘」という表現が住民の立場から不適切ではないかとの質問に対し、（規制委員会オブザーバーより）規制庁が文書の重さを分かり易く表現したものとの説明があったが、震災後の社会情勢を勘案して配慮していく旨の説明があった。
- 安全文化評議会に関し、構成員はだれかとの質問に対し、大学の先生、地元区長、町幹部職員との説明があった。

8. 審議会の情報	名称	熊取町原子力問題対策協議会
	根拠法令等	原子力問題対策協議会条例
	設置期間	昭和47年10月28日から
	所掌事務	本町に設置された原子力施設の平和利用と安全性の確保を図るため、必要な調査及び審議を行い、関係機関に意見を具申する。
	委員数	25名

9. 担当課	環境課
--------	-----